

授業科目

救急症候学I

担当教員名 佐藤 弘	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

検査が十分にできない病院前での活動において、適切な医療機関選定を行うためには、患者に認められる症状・所見（症候）をもとに病態を推測し、さらにはどのような治療が必要となるかまでを考えることが重要である。

本科目では、代表的な救急症候である意識障害、頭痛、痙攣、運動麻痺、めまい、呼吸困難、喀血、失神を取り上げ、それぞれの原因、症候、病態生理とともに、症候・病態に応じた観察・評価、疾患の鑑別および救急対応等を学習する。

授業の目的

1. 代表的な救急症候である意識障害、頭痛、痙攣、運動麻痺、めまい、呼吸困難、喀血、失神について、それぞれの定義・概念、原因、症候、病態生理を理解する
2. 症候・病態に応じた観察・評価、疾患の鑑別および救急対応に関する専門的な基礎知識を習得する
3. 本科目で学習する内容は、救急病態生理学および疾病救急医学で学ぶ内容と表裏一体のものであることから、これらを統合した理解を学習する。

学習目標

意識障害、頭痛、痙攣、運動麻痺、めまい、呼吸困難、喀血、失神の8つの救急症候につき、下記の項目を理解する。

1. 概念・定義
2. 発生機序・病態生理
3. 主要原因
4. 緊急度・重症度の判断
5. 原疾患・病態生理に基づいた現場での判断

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	意識障害（1）	講義	佐藤 弘
2	意識障害（2）	講義	佐藤 弘
3	頭痛（1）	講義	佐藤 弘
4	頭痛（2）	講義	佐藤 弘
5	痙攣（1）	講義	佐藤 弘
6	痙攣（2）	講義	佐藤 弘
7	運動麻痺（1）	講義	佐藤 弘
8	運動麻痺（2） めまい（1）	講義	佐藤 弘
9	めまい（2）	講義	佐藤 弘
10	呼吸困難（1）	講義	佐藤 弘
11	呼吸困難（2）	講義	佐藤 弘
12	喀血	講義	佐藤 弘
13	失神（1）	講義	佐藤 弘
14	失神（2）	講義	佐藤 弘
15	まとめ	講義	佐藤 弘

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	
参考書						

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

科目試験の受験資格は、1～15回目の授業のうち10回以上出席を条件とする。

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

日時：木曜日13:30～17:00（連絡していただければ適宜時間をお取りします）

研究室：IA棟5階509号室

電話：025-257-4485（直通） 内線3509

E-mail：hiroshi-sato@nuhw.ac.jp